総合戦略評価（令和２年度実績）に対する意見募集の結果について

【意見募集の概要】

１．意見募集期間

令和　４年　１月　４日（火）～　令和　４年　２月　３日（木）

２．提出方法

郵送、FAX、電子メール、直接持参

３．意見提出件数

４件（意見提出者数　　１名）

４．意見の内容及びそれに対する町の考え方

＜意見内訳＞　詳細は別紙のとおり

	意見項目	件数
1	施策「公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出」	1
2	施策「地域で支えあう体制の構築」	1
3	施策「特色ある教育活動の推進」	1
4	施策「地域農林業の活性化」	1
合計		4

（別紙）意見の内容及びそれに対する町の考え方

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
1	施策「公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出」	○　東大跡地活用については、協議会運営（少なくとも順調にすすむまで）は、行政による指導が必要だったと感じています。	○　東京大学果樹園跡地活用協議会は、行政に頼らない自立した協議会を目指し発足したことから、行政として必要最小限のアドバイスを行う程度で運営されてきましたが、現地管理を含め、イベント時の近隣住民との調整など、様々な課題が見えてきたことから、令和３年度より、これまで以上に行政と協議会が密接に連携していくこととなりました。 　今後も協議会の主体性を尊重しつつ、町も積極的に連携を図り協力をしてまいります。
2	施策「地域で支えあう体制の構築」	○　通いの場参加者については、人数だけＫＰＩとすることで良いのか？代替策を打っていたと思うが、その結果について検討することが必要ではないか。	○　第２期二宮町総合戦略の計画期間（令和２年度から令和４年度）における、目標達成のために経年変化を追えるものとして、現在のＫＰＩを設定しています。 　施策評価としては、ＫＰＩのみで判断しているものではなく、実情やそのことに対する対応策等も踏まえて、全体的に評価しています。地域の通いの場の活動としては、新型コロナウイルスへの対応状況も踏まえて検証し、次年度以降の取り組みに繋げていきます。
3	施策「特色ある教育活動の推進」	○　子どもたちの意識の変化を把握するためには、学力検査を待たずとも、町教育委員会独自にアンケートを実施するなどができなかったでしょうか。	○　ＫＰＩの設定の考え方として、経年変化を追えるものであることを前提に、データ収集の効率化も観点に、可能な限り、既存で算出している数値等を活用しています。 　令和２年度については、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育の影響は非常に大きく、学校の現場の状況に配慮し、町として追加調査等は行いませんでした。
4	施策「地域農林業の活性化」	○ 鳥獣害管理の指標として、捕獲頭数は適切ではないと思います。生息頭数がわからない中では、被害面積や被害金額などが指標として適切ではないでしょうか。	○　イノシシ等の被害が増加する中で、有害鳥獣の捕獲強化を目的として、現在のＫＰＩを設定しました。一方で、ご指摘のような課題があるとの認識もありますので、次期総合戦略に向けて、ＫＰＩを検討します。